

災害時の避難行動

～大規模災害が発生したらどう行動するか～

地震発生時

①揺れが収まるまでは、何よりも身を守る行動をしましょう。



②火元の近くにいる場合は火を消し、扉を開けておきましょう。



③防災ハザードマップで避難所や避難場所などを確認し、市からの防災情報を確認しましょう。



防災ハザードマップはこちら

④自宅の倒壊など危険がある場合は、近くの避難所などに避難しましょう。非常時の持出品も忘れずに。



⑤自宅が安全である場合は「在宅避難」をしましょう。

風水害発生時

①気象庁の情報などあらかじめ災害の発生を予想しましょう。

②防災ハザードマップで避難所や危険箇所などをあらかじめ確認しましょう。

③市からの防災情報を確認しましょう。

④市では、洪水や土砂崩れで住家が全壊するような想定はありません。自宅が安全である場合は「在宅避難」をしましょう。



防災情報などをいち早く受信できるつるポッケはこちら！

災害の種類によって開設する避難所が変わります！

大規模地震災害など

小中学校の体育館を避難所として開設します。大規模な地震が発生すると、市内全域が一斉に被災地となることが予想されます。そのため、多くの住民が避難できる市内小中学校の体育館が避難所となります。また、市民センターなどを福祉避難所として開設します。

災害により建物が被害を受け、自宅にすることが危険である場合には、ちゅうちょせず避難所や知人宅など安全な場所に避難してください。

また、避難所では、避難者となるあなたも運営者の1人です。避難所は、ホテルなどの宿泊施設とは異なります。避難所の運営は、避難された方が避難所運営組織のメンバーとして、自ら主体的に運営を行うていくことが必要です。

大規模災害発生時は、長期的な避難生活となり、市の備蓄品だけでは足りません。市民の皆さん一人ひとりが持参できるものは持参する意識を持ちましょう。そのために、日ごろから食料や水、非常用のトイレ袋などを用意し、備えておきましょう。

また、避難する際には、避難者一人ひとり常備薬や普段着など生活に必要なものが異なります。貴重品や自分に合った非常食なども日ごろからすぐ持ち出せるように準備をお願いします。

風水害など

市民センターを自主避難所として開設することがあります。

本市では、河川がはん濫し家屋が流され、全壊するような被害は想定されていません。ただし、自宅にすることが不安で、自主的に避難をする方を対象に開設することがあります。

近年、全国各地で大規模な地震災害や風水害などにより、生命や財産に甚大な被害をもたらす自然災害が増加しています。地震災害では、気象庁が今年8月8日から15日にかけて「南海トラフ地震臨時情報」を発表し、巨大地震への注意を呼びかけました。本市は、この「南海トラフ地震防災対策推進地域」には指定されていませんが、この地震において、本市でも最大震度5弱から5強程度の揺れが想定されています。

また風水害では、今年7月24日に突風などが発生し、市内各地で、短時間に倒木などが多数発生しました。8月7日の落雷・大雨においては、市内各地で停電、床上・床下浸水、道路冠水などが発生しました。8月29日から30日にかけての台風第10号においても、大雨により、床下浸水、道路冠水などが発生しました。

もし、大規模災害が発生した場合には、多くの地域住民が被災者となります。道路は損壊し、消防車や救急車もすぐには到着できません。また、市職員も被災し、迅速な対応がとれない可能性もあります。災害が発生したらどう行動するのか、適切な行動がとれるようどう準備していくのか、市民の皆さん一人ひとりが防災意識を高め、考えていく必要があります。

各ご家庭での取組(自助)、地域での取組(共助)の大切さを見つめ直し、災害に備えましょう。

災害に備える

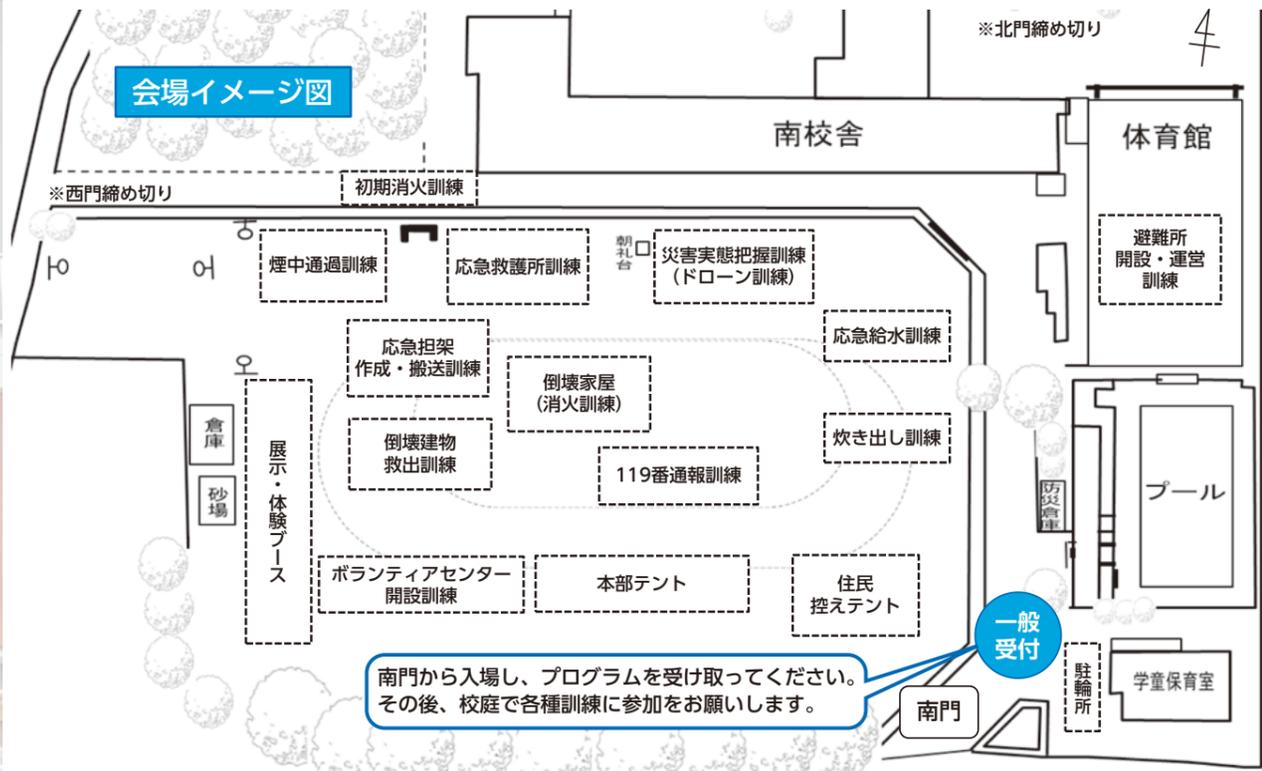
問合せ先 危機管理課防災危機管理担当

令和6年1月1日能登地方を震源としたマグニチュード7.6の大地震が発生しました。P2-5の背景写真は石川県七尾市立七尾東部中学校の発災時の様子です。



第38回 鶴ヶ島市総合防災訓練

日時：11月24日(日)8時30分～11時30分 場所：杉下小学校



校庭で行う訓練

☑ どなたでも



- ・初期消火訓練
- ・煙中通過訓練
- ・倒壊建物救出訓練
- ・応急担架作成・搬送訓練
- ・災害時協定業者や防災機関による展示・体験ブース
- ・自衛隊による炊き出し訓練のカレー試食など

杉下小学校区の地域住民を主に対象とした「避難所開設・運営訓練」に重点を置き、災害はいつ発生してもおかしくない！をテーマに、「地域住民の皆さんが主体的に避難所開設・運営できるように」を主眼とした訓練を実施します。ぜひ、避難所とはどういうものなのか体験してみてください。

そのほか、公的機関による訓練として
 ・消防団などによる放水訓練
 ・応急救護所訓練
 ・消防組合によるはしご車での救出訓練なども実施します。

シェイクアウト訓練

☑ 杉下小学校区の市民

午前8時30分に杉下小学校区を対象に、防災行政無線による緊急地震速報の試験配信を行います。各家庭など(その時にいる場所)で机の下にもぐるなど、身体の安全を確保し、火の始末を行ってください。



※ 鶴ヶ島市総合防災訓練は、毎年、市内小学校区(8学校区)ごとに、輪番で開催しています

避難誘導訓練

☑ 杉下小学校区の市民

シェイクアウト訓練後の午前8時30分から杉下小学校区の市民を対象に避難誘導訓練を行います。その後、杉下小学校での各種訓練にご参加ください。杉下小学校は駐車禁止となり、近隣においても一般参加者向けの駐車場は、ありません。また、非常用持出袋(リュックなど)や体育館履き(スリッパなど)も持ってお集まりください。なお、雨天時は中止となりますので、ご注意ください。当日7時30分に防災行政無線およびホームページにて中止の周知を行います。

災害時、自宅にいるとは限らない 帰宅困難者対策

平成23年の東日本大震災では、首都圏に多くの帰宅困難者が発生し、大きな混乱となりました。大規模な地震などにより、公共交通機関が止まることがあります。外出先に取り残された人々が一斉に徒歩帰宅を始めた場合、路上や鉄道駅周辺では大混雑が発生し、集団転倒などに巻き込まれる可能性があります。また、火災や沿道建物からの落下物などにより負傷するおそれがあるなど、大変危険な状態になります。さらに、道路の混雑により、救助・救命活動や消火活動、救援物資輸送などの応急対策活動が妨げられるなど、大きな混乱を生じるおそれがあります。事業者においても、家庭内備蓄と同様に最低3日分の備蓄をしましょう。帰宅困難者の一斉帰宅に伴う混乱を回避することに併せ、帰宅困難者自身の安全を確保することも重要です。

外出先で災害が発生したら

・むやみに移動しない

災害発生後、すぐに帰宅しようとすることは大変危険です。施設が安全な場合、発災後一定期間は勤務先などに留まりましょう。

・正しい情報を確認

災害時は、デマなどの不確かな情報が拡散しやすいため、信頼できる情報源で、被害状況や交通情報などを確認しましょう。

・家族などの安否確認

災害用伝言ダイヤル171などを活用し、家族や職場と連絡をとりましょう。無事が確かめられれば、状況が落ち着くのを待って帰宅することができます。

・周囲で助け合う

可能な状態であれば、積極的に周辺での救出・救護活動を行い、助け合いましょう。



一時滞在施設

帰宅が可能になるまで待機する場所がない帰宅困難者などを一時的に受け入れる施設です。

- ・鶴ヶ島海洋センター(鶴ヶ丘54-4)
- ・若葉駅前出張所(富士見1-2-1)

災害時の情報収集

市のホームページ、市公式アプリ「つるポッケ」、つるがしまメールマガジン、鶴ヶ島市公式XやLINEなどのSNS、防災行政無線により災害情報などを発信していますので、活用ください。

全国Jアラート一斉訓練を行います

市では、全国瞬時警報システム(Jアラート)を設置しています。これは、国から送られてくる緊急地震速報や武力攻撃などの緊急情報を、人工衛星などを通じて受信し、市の防災行政無線で瞬時にお伝えるシステムです。今回、このシステムを使用した全国一斉の緊急地震速報訓練と情報伝達訓練を行います。放送を聞いたら自分の身を守る行動をとってみましょう。

○緊急地震速報訓練用放送

放送日時 11月5日(火)午前10時ごろ
 放送内容 [(チャイム音)こちらは、防災つるがしまです。ただ今から訓練放送を行います(緊急地震速報チャイム音)。緊急地震速報。大地震です。大地震です。これは訓練放送です(くり返し3回)。こちらは防災つるがしまです。これで訓練放送を終わります(チャイム音)。]

○情報伝達訓練用放送

放送日時 11月20日(水)午前11時ごろ
 放送内容 [(チャイム音)これは、Jアラートのテストです(繰り返し3回)。こちらは、防災つるがしまです(チャイム音)。]

※ いずれも災害時などは訓練を中止する場合があります